

報道関係各位

2016年8月9日

ソーラーフロンティア株式会社

小学生 49 人が「ソーラーヘリコプター」作りに挑戦！ ソーラーフロンティア国富工場で夏休みエネルギー教室を開催

【東京—2016年8月9日】—ソーラーフロンティア株式会社（代表取締役社長：平野敦彦、本社：東京都港区台場2-3-2、以下：ソーラーフロンティア）は、2016年8月2日と3日の2日間、世界最大級の CIS 薄膜太陽電池工場である国富工場（宮崎県）で、地元の小学生を対象に夏休みエネルギー教室を開催しましたので、お知らせいたします。小学校高学年を中心とした参加者 49 人は、工場見学やソーラーヘリコプター作りを通して、太陽エネルギーについて学びました。

このプログラムは、ソーラーフロンティアが次世代育成支援・地域貢献の一環として、2012 年より毎年夏に開催してきたもので、今年で 5 回目を迎えます。宮崎県は年間日照時間が長いことで知られ、太陽光発電システムの普及率も全国 1 位¹です。太陽光で動く工作やソーラーパネルの工場見学は、子どもたちの関心が高く、夏休みの自由研究としても人気です。

当日、子どもたちは国富工場の社員から、地球温暖化の問題や太陽光発電などの再生可能エネルギーが果たす役割について学んだ後、工場で実際にソーラーパネルが生産される様子を見学しました。工場では、ロボットが材料となるガラス基板を投入する工程などに、歓声があがりました。さらに 1 人ずつ木製のソーラーヘリコプターの組み立てを行い、太陽光を当てるとプロペラが回る仕組みを学びました。子どもたちからは、「工場は機械ばかりだけど、人はどこにいるの?」「結晶系と CIS 系の違いは?」等の活発な質問があり、嬉しそうに作品を持ち帰る姿が見られました。

ソーラーフロンティアは今後とも、地域社会やパートナー企業の皆さまとの協業を通じて、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にご提供してまいります。



ソーラーヘリコプターを工作する様子



工場見学の様子

以上

¹ [平成 26 年全国消費実態調査 主要耐久消費財に関する結果の公表](#)

【ソーラーフロンティア株式会社について】

ソーラーフロンティア株式会社は、昭和シェル石油株式会社（5002, T）の100%子会社で、世界最大の CIS 薄膜太陽電池のソリューション企業です。当社が生産・販売する CIS 薄膜太陽電池は、実際の設置環境における経済性および環境特性の高さが特徴で、これまでに住宅用・産業用の両面において革新的かつプロフェッショナルなソリューションをご提供してきました。ソーラーフロンティアは、太陽による快適でクリーンな暮らしをすべての人にお届けします。企業情報や最新ニュースの詳細は、当社公式の[ホームページ](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)をご覧ください。

報道関係からの問い合わせ先:

ソーラーフロンティア株式会社 コーポレートコミュニケーション部
吉田・八宮 TEL: 03-5531-5792